

雁 木

G A N G I

北栄建設株式会社
〒950-8629
新潟市美咲町
1丁目23番51号
Tel 025-285-2171

燃料電池

燃料電池とは、図-1のように天然ガス等を燃料にして電力と熱を発生させるための発電装置です。これは、図-2に示すとおり電気分解の逆反応である電気化学反応を用いるため、燃料を燃焼させる必要がなく、効率が高く環境に優しい発電装置として注目されています。

また、この電気化学反応において発生する熱を利用し、効率の良いコージェネレーションシステムを構成することが出来ます。

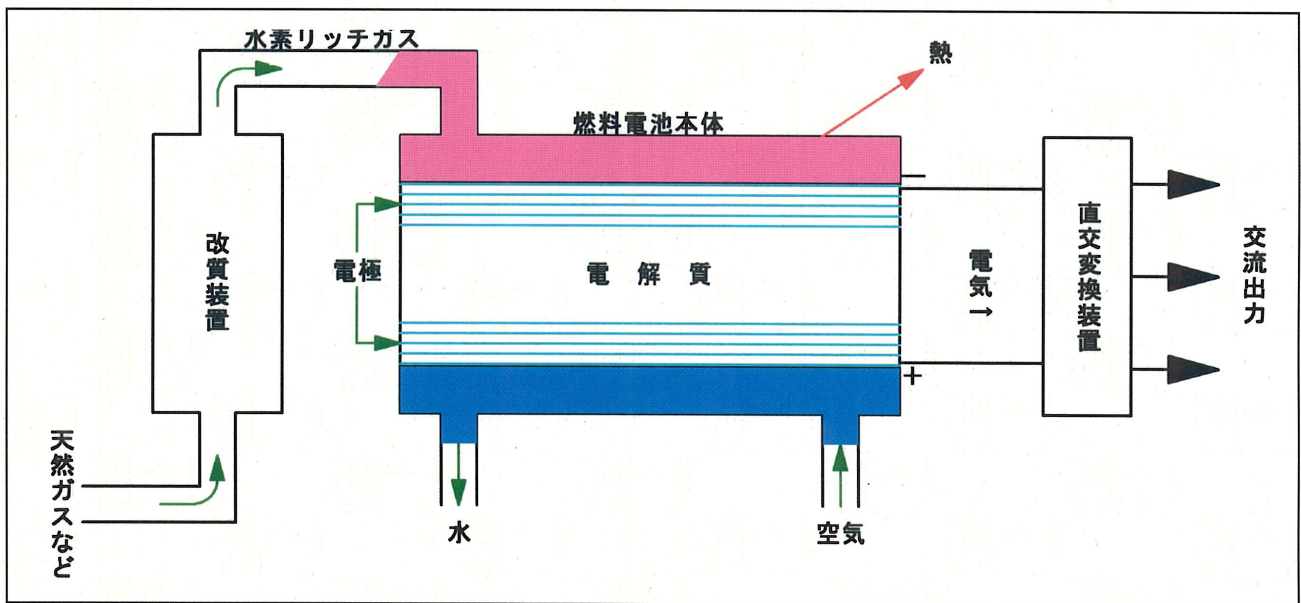


図-1

数万kWを目指す大規模発電設備としてのみならず集合住宅、オフィスビル、病院等での数百kW級コージェネレーション、さらに乗用車やバス等交通機関の動力電源、数kWの家庭用や数十Wの電子機器用電源等、幅広い範囲での出力規模と多岐にわたる利用が期待されており、最近では一部の機種においては商業化されています。

※ コージェネレーション

発電とともに発生する廃熱を有効に活用する自家発電システム。

発生した熱をそのまま環境中に排出してしまう既存の火力発電所の熱効率は40%程。

それに対して、コージェネレーションの場合は80%以上の熱効率を可能にします。

その廃熱は給湯や暖房などに利用され、石油や天然ガスなどの一次エネルギーの消費を半分近くまで抑えることができます。地球温暖化対策のために産業部門などへ導入が望まれています。

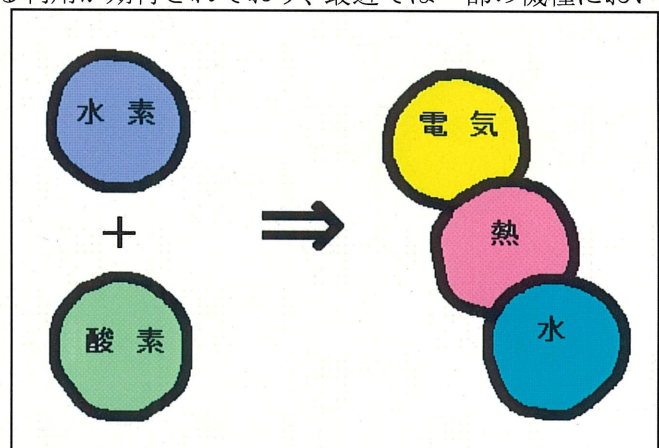


図-2

ちょっと
コノ街

“上越” 岩の原ワイン



山と海に囲まれたこの地域は、山海の幸が豊富で食べ物が旨い！
もちろん酒も旨い！！そうそう日本酒・・・ではなくて、ここ上越は
全国に誇れるワインの産地なのです。その名も—「**岩の原ワイン!**」—

このワインはその歴史も古く、1890年当時、勝海舟とも親交の深かった「川上善兵衛」という名家の人物が、欧米化の進む日本にもワインが普及していこうと考えたのがはじまりだそうです。日本の気候風土では、難しいとされていたワイン醸造用の葡萄栽培を初め、改良に改良を重ねて、善兵衛はその生涯をワイン製造に尽力したと言います。

まろやかで個性的な風味は、全国のワイン党に支持され、皇室にも献上されました。現在でも当時の建物が残っており、上越市の文化財に指定されています。見学することも出来ますし、同じ敷地内には直売所やレストランもあるのでゆっくりとワインを楽しむことが出来ます。

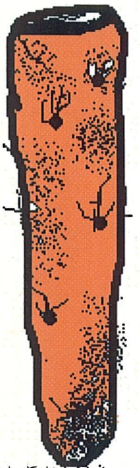
上越に来た際においしいワインはいかがですか!?

酒のさかな

～ワインバージョン～

長いもステーキ

- ① 長いもの皮をむき、1cm位の厚さの輪切りにする。
- ② フライパンに油をいれ、包丁の背でつぶしたんにくをいれる。
- ③ 香りが出たら長芋をいれ、両面をきつね色に焼く。
- ④ めんつゆ・みりん・日本酒を1:1:1で混ぜたものをいれ煮詰めながら味をからませる。
- ⑤ お皿に盛り、好みであさつき、青のりなどをふっていただきます。



☆ワインに合わせるときは「これでもか」というくらいにんにくを利かせてください。すると、全然くさくないのに風味は絶品になるそうです。
♪長いもの皮は素揚げにして塩をふって頂く!!
これがまた(×2)お酒のおつまみに・・・。
これぞ!一石二鳥!!

下水道の起源は、紀元前3000年代でモヘンジョ・ダロの時代までさかのぼります。メソポタミアや、インダス河流域に栄えた宮殿や大都市で、大邸宅の生活排水を屋敷の外に送り出すためのものでした。さらにこの当時、既に水洗便所まであったというので驚きます。

この頃の下水道の大きさは25×30cm又は、50×60cmと小さく、石板やれんがで蓋をただけのものでした。

日本では、奈良の平安京の発掘で同じような構造物が発掘されたそうです。

工事 豆太郎
です。

『工事の起源』
教えます。



～編集局から一言～

梅雨を通り越してもう夏がきたのではと思わせる様な陽気につつまれた5月でしたが、この様な季節の変わり目は、とかく体調を崩しがちになります。食生活などに十分気をつけて、体調管理には気をつけたいところです。

「雁木」も2回目ということで、編集も徐々に慣れつつあるところですが、毎回気を抜かずに、良い紙面作りを心がけて行きたいと思っております。どんな事でも結構ですので皆様方よりのご意見感想等ございましたら、営業担当者又は下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

E-Mail: gangi@hokuei-k.co.jp

URL: <http://www.hokuei-k.co.jp>